

観光立国の実現は地方(地域)から

出席者(順不同)

- 小川 晴也氏 (神奈川県・箱根温泉 (一)の湯社長)
 - 高尾 憲資氏 (千葉県・白浜温泉 (季節の宿紋社長)
 - 柏原 益夫氏 (群馬県・四方温泉 (柏屋旅館社長)
 - 山口 忠孝氏 (栃木県・板室温泉 (ONSENRYOKAN山荘社長)
 - 西田 陽一氏 (大分県・別府温泉 (ホテル白菊社長)
- 司会 日本社編集長・森田洋

旅館業界のトップランナーが



判断力も必要だが、人間の頭の中のスピードなどは、社長も従業員も同程度だ。たまたまチャンスが違っただけ。課題が見つかった時の反応と判断が全社で同じになるような企業文化が根付くことが到達点になる。

高尾 何をやらぬか決めることが大事。年間新生児は約100万人で生まれている。うちのマーケットである東京、千葉、埼玉、神奈川で約38万人が毎年生まれている。そのうち第一子がその半分、15万人くらい。毎年15万人の見込み客がある。中数少しか来ないといけない。それをどうするか。経営者の仕事だと思ってい



山口氏

今後求める旅館経営のあり方は経営者は、小川 儲からないでしょう。儲かる会社を作りたい。それを大前提とする。経営者一人ではできないから協力する人と同じ信頼が得られるように進めたい。旅行などと同じ体験をして、互に理解し信頼できる関係性を作らなければならない。社長が信頼されないといふことは、お客様が信頼してくれず、お客さまからも信頼が得られないことになる。

企業文化根付かせる 何をやらぬか決断

小川 高尾 だと思っている。地域を活性化する活動も行い、地域ブランドコンセプトを作ろうと

地域全体で新卒育成 会社回すための謙虚 コストの仕分け必要

柏原 山口 西田

西田 人の命を預かり、料りながらホテルのスタイルを理なな管理から安全安心なことを求める。経営者として、安全安心なことを求める。経営者として、安全安心なことを求める。

西田氏 生に一度しかない。千載一遇したチャンスを生かすためにも、まず日本に発信も大切だが、2次交通を



西田氏

後、社長しかできない。配慮をするだけでもハン

新年おめでとうございます。

JTB協定旅館ホテル連盟

JTB協定旅館ホテル連盟北海道支部連合会

- 名誉会長 笹本潤一
- 会長 桶川昌幸
- 副会長 西村有人
- 理事 唐神昌子
- 顧問 毛利勇二
- 副会長 清成淳夫
- 会長 作田英実

JTB協定旅館ホテル連盟東北支部連合会

- 名誉会長 森吉弘
- 会長 小口憲太郎
- 副会長 山口敦史
- 理事 杉澤廉晴
- 顧問 伊沢洋平
- 副会長 蝦名正治
- 会長 佐藤康

JTB協定旅館ホテル連盟関東支部連合会

- 名誉会長 池田浩
- 会長 竹内順一
- 副会長 吉田幸司
- 理事 今枝敦
- 顧問 小佐野国博
- 副会長 岡田浩一郎
- 会長 皆見薫

JTB協定旅館ホテル連盟中部支部連合会

- 名誉会長 松本博
- 会長 濱田利博
- 副会長 寺田順三郎
- 理事 今井寛
- 顧問 伊藤善男
- 副会長 伊藤善男
- 会長 永島寛

JTB協定旅館ホテル連盟西日本支部連合会

- 名誉会長 光山清秀
- 会長 増田宏
- 副会長 近藤山久
- 理事 大増博之
- 顧問 植崎光彦
- 副会長 植崎光彦
- 会長 岸本慎二

JTB協定旅館ホテル連盟九州支部連合会

- 名誉会長 古田和吉
- 会長 豊田裕
- 副会長 西田陽一
- 理事 榎田康裕
- 顧問 中森明男
- 副会長 中森明男
- 会長 河津隆一郎